

# すくすくおもちゃだより 6月



逆瀬川あゆみ保育園 子育て支援すくすく 本郷由香

2026. 6.3

地階すくすくルームには、0～3歳頃のお子さんの発達に合わせた玩具を、沢山取り揃えています。今年度はこのおたよりにて、すくすくで人気の玩具を一部、紹介していきます。また私事ですが、東京おもちゃ美術館の『おもちゃコンサルタント』の資格を取得しましたので、その際に学んだ事（聞いた話）をひとことコラムとして少しお伝えしたいと思います。



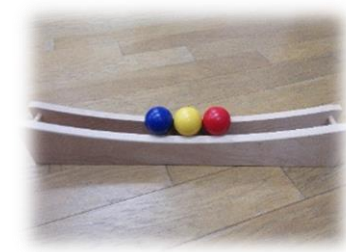
## リラックス雨音ボトル

砂時計のように上下に動かすと、小さな粒が落ちていきます。サラサラ～と早く落ちるもの、グルングルンと少しゆっくり落ちるものなど、それぞれの速度の違いがあり、どれが好きかな～?と比べて楽しめます。  
\*同じような玩具に【リラックスキラキラボトル】もあり、こちらは色々なキラキラをみて楽しむ事ができますよ。



## ワーリースクイグス

後ろに吸盤がついており、壁や床などにくっつける事が出来ます。くっつけて回すと、安定してくると回るのがみえます。また、少しの力でも回るので、小さなお子さんでも回す楽しさも味わえます。少し大きいおさんは、よーいドン!で回して、誰が回したものが最後まで回り続けるかを、競って遊ぶ姿も見られます。



## チックタックスロープ

緩いカーブに木のボールを乗せると、左右にコロコロと動きます。そのゆっくり動く速度が丁度良く、じっと見つめて楽しめます。(腹ばいのおさんが、ボールの動きをしっかり追視し、楽しんで見る姿もあります。) また、どこにボールを乗せても動く事、口に入れても入らないサイズ…と、小さなおさんが楽しめる利点が沢山あります。ブナ材を使用しているので、美しくなめらかな質感のも素敵です。



## ひとことコラム

今月は欧米諸国の玩具として、『レゴ』について取り上げたいと思います。多くの人知っている『レゴ』。実は、言葉としては造語だそうで、Leg godt(レット・ゴット)を短くして『レゴ』との事です。デンマーク語で、「よくあそべ」という意味だそうです。また、レゴ社はどれだけ有名になっても、片田舎にある本社を動かさないそうで、そこはこだわりがあるそうです。社訓としているのが「子どもにとって良すぎるものはない」というもので、社員が日々確認できるように、本社の入り口にその社訓が掲げられているのだそうです。子どもにとって本当にいいものを!との思いを持って、玩具を作られている事を感じますね。また、次の取り組みとして、SDGSの観点から、土に戻る素材でレゴを作る事を考えて進められているようです。

\*すくすくルームには、大型のレゴブロックがあります。小さいお子さんだとはめるのは難しいですが、上に乗せたり、裏側を観察したり…という感じで、2～3歳くらいになると、はめる事ができたり、イメージを持って何かを作ったり…と楽しまれています。